

第55回 岡山後樂能

能道成寺

赤頭

觀世 喜正

令和七年十一月三日(祝日・文化の日) 十三時始
於岡山後樂園 能舞台

仕舞	鐘之段	林喜右衛門
仕舞	女郎花	坂口 貴信
一調	龍 田	大島 衣恵
狂言	因幡堂	田賀屋 夙生



第55回岡山後楽能

令和七年十一月三日（月・祝） 十三時開演

解説

番組

桑田 貴志

仕舞

鐘之段
女郎花

林喜右衛門
坂口 貴信

地謡

金子仁智翔
田口 亮二
観世 喜正
石井 寛人

一調 龍 田

大島 衣恵

梶谷 義男

狂言 因幡堂

男 田賀屋 夙生

女房 茂山千五郎

後見 井口 竜也

休憩

観世流能

道成寺

シテ 観世 喜正

赤頭 ワキツレ 橋本 宰

ワキツレ 有松 遼一

大鼓 守家 由訓 太鼓 梶谷 英樹
小鼓 横山 幸彦 笛 八木原 周平

アイ 島田 洋海
アイ 茂山 茂

後見 坂口 貴信
観世 和歌
林喜右衛門

金子仁智翔 馬野 正基
田口 亮二 弘田 裕一
長山 耕三 遠藤 和久

鐘後見 大槻 裕一 齋藤 信輔 桑田 貴志
赤松 禎友 石井 寛人

狂言後見 茂山千五郎 井口 竜也
茂山 逸平 山下 守之

終了予定 十六時過ぎ

狂言「因幡堂」

男は妻が親里へ戻ったのを幸いに暇の離縁状を送りつけます。そこで男は新たに妻を持つため、因幡堂のお薬師如来に妻ごいの祈誓をかけに参り、通夜をします。さて暇状を見て腹を立てた妻は、男が因幡堂へ妻ごいをしに行くのと聞き後を追うと、男が通夜をしているので、薬師如来になりすましお告げを言い渡します。男は喜び勇んで、ご霊夢の西門の一の階まで行くと、女が被衣を着て立っていますが…。

女の執心は道成寺とはだいぶ異なり通俗的ですが、喜劇的要素は大いに含みます。

能「道成寺」

紀伊国、道成寺の釣鐘の再興供養へ、一人の白拍子（前シテ）が現れる。白拍子は一心に舞を舞ううちに「この鐘が恨めしい」と釣鐘の中に飛び入ると轟音と共に鐘は落ちてしまふ。ことの顛末を聞いた住職（ワキ）は次のように語る。昔、ある娘が山伏に恋い焦がれたが、娘のあまりの一途さに山伏は驚き逃げ、道成寺の鐘の中にかくまってもらう。蛇の姿に身を変えて追いかけてきた娘は、鐘にまわり山伏を焼き殺してしまった。先程の白拍子はこの娘の怨霊であろうと考えた住職は、鐘に向かって折り始める。すると、中より白拍子が蛇体（後シテ）となって現れる。住職達が必死に祈ると、蛇体は力尽き日高川へ飛び込む。

当能舞台では二十年ぶりとなる「道成寺」。舞台に大きな釣鐘を吊るところから始まり、その鐘にシテが飛び込むというダイナミックな演出をはじめ、舞、囃子、謡、後見と、舞台上のすべてが特別仕様の大曲です。この貴重な機会をどうぞお見逃しなく。



岡山後楽園の
YouTubeチャンネルにて
当公演の能・狂言の
解説動画を
ご覧いただけます



岡山後楽能

日程 令和7年11月3日（月・祝 文化の日）
13時00分開演 / 12時00分開場

会場 岡山後楽園 能舞台

鑑賞料 特別席 15,000 円【前売券のみ】後楽園入場券付

自由席 12,000 円【前売券】後楽園入場券付

【当日券】※ 後楽園入場券は別途お買い求めください
※ 能舞台にて販売いたします

◎未就学児の観覧はご遠慮ください

【チケット販売窓口】

▷ 岡山後楽園 TEL 086-272-1148

▷ 喜多流大島能楽堂 TEL 084-923-2633
www.noh-oshima.com

▷ 茂山狂言会事務局 TEL 075-221-8371

▷ ぎんざやプレイガイド TEL 086-222-3244

▷ チケットぴあ <https://t.pia.jp>（Pコード 535 - 493）

※チケットぴあをご利用の場合、後楽園入場券は付きません

【お問合せ】岡山能楽振興会 TEL&FAX 086-466-6516 岡山後楽園 TEL 086-272-1148 喜多流大島能楽堂 TEL 084-923-2633

主催：岡山能楽振興会 / 共催：岡山県 / 後援：岡山県教育委員会・岡山県郷土文化財団・山陽新聞社